



いちサポは、39歳までの若者の就職をサポートします！

いちサポ通信

厚生労働省地域若者サポートステーション事業
(岩手県労働局委託事業)
いちサポ通信7月号(第59号)
平成30年7月1日発行
〒021-0881 岩手県一関市大町4-29
市街地活性化センターなのはなプラザ4階

実績

平成30年6月までの実績(6月20日現在)

- 登録者.....44名(うち平成30年度新規11名)
- 就職決定者.....7名(平成30年4月より)
- 6月の就職決定者...2名(食品関係/行政関係)



企業見学会：有限会社プレス工房

報告

◆日時：6/7(木) 13:30-15:00 ◆参加者：3名
 ◆場所：(有)プレス工房 ◆所在地：一関市山目
 ◆設立：平成10年11月 ◆業種：紳士服・婦人服のアイロンプレス加工
 ◆事業内容：検品・包装・出荷。主に女性オフィスウェア(JA、銀行、民間企業等)90%を扱っています。



プレス工房は単なるクリーニング屋ではありません。メーカー(アパレル会社)が企画して、商社(伊藤忠・丸紅)が現地生産(東南アジア諸国)し、出来た製品は日本全国の港や倉庫に運ばれストックされています。メーカーから指定された数量が指示されます。アイロン作業・値札付け・カバー・ハンガー掛けをします。出荷時はハンガーに掛けた状態(お店に並べられる状態)で注文先に届けられます。※現地生産国... (ベトナム・バングラデシュ・中国が90%生産)。プレス工房では1日当たり1,000着、月20,000着が扱われております。山目工場では最大ストック2万着が収納可能、萩荘の倉庫では1万5千着収納ができます。

社長さんから(求める人材像)

働く人は千差万別であり、一点の仕事を見ただけではその人の技量は分かりません。最初の一年は教育期間と思っています。夏物・冬物を通さないと本人の労力が判定できません。まず、一年をかけて一人前になるように頑張ってください。最初は「スカート」から始まり、「ベスト・ジャケット」のプレスへとステップUPしていきます。立ち仕事ですが最初の一週間、10日間が過ぎると体が慣れてきます。

企業見学会：三島ハーネス株式会社

報告

◆日時：6/7(木) 10:30-11:40 ◆参加者：5名
 ◆場所：三島ハーネス(株)一関工場 ◆本社：宮城県栗原市
 ◆一関工場(一関市真柴)：平成7年設立 ◆業種：電子機器・部品
 ◆事業内容：電気機械器具製造・組立検査業務全般

ハーネスとは配線のことです。お客様から頂いた加工図面に基づいて、製品を加工する作業を行っています。一関工場では組立検査業務全般の中でも、5工程作業(①挿入作業②結束作業③ツイスト作業④外観検査⑤電機検査)を行っています。参加したTさんは「組立や検査を見学した。このような会社に勤めたい」と決意を新たにしました。

社長さんから(求める人材像)



どんな作業にもルールがあります。配線を繋げればよいというものではありません。一つ一つの製品はすべて5W1H、仕事を進める上で「不安」や「思い込み」は失敗のもとです。自分で勝手な判断をしない事、判断する根拠は「いいか・悪い」ではありません。指示通りに作業が出来るか出来ないかです。不良品を見逃せば個人の問題ではなく会社の信用に影響します。常に「報告・連絡・相談」が仕事の基本です。

企業見学会：東北建工企業株式会社

報告

◆5/28(月) 10:00-11:00 ◆参加者3名
 ◆場所：一関市大東町大原
 ◆業種：伐採工事業務全般
 ◆事業内容：配電線保守のための伐採工事



東北電力(株)のグループ会社である(株)ユアテックの協力企業として、一関市所管内・大船渡市所管内における配電線保守の為の伐採工事を行っています。また、地域や企業のライフラインである電気の供給を保守する特殊作業の為、社員教育・研修に力を入れ、安全作業で業務を充実しています。このような仕事をする事で停電の件数が激減しています。見学当日は大東町大原地区の配電伐採に伴う、伐倒・枝切り・下刈り・集積作業の一連を見学しました。見学会に参加したKさんは「知らない分野の仕事を見学できると思い参加しました。安全第一の重要性と、誰もがゼロからのスタートだということを知りました」と振り返りました。

社長さんから(求める人材像)

一緒に働いてみませんか?従業員の高齢化により若い人を求めます。人の目につきにくい仕事ではありますが、地域のライフラインである電気の安定供給を保守していくという重要な役割を担っているととてもやりがいのある仕事です。社内教育により安心して仕事に従事して頂けます。

いちサポ卒業生の様子

報告

卒業して2年目!いちサポの卒業生を紹介します。
 ◆株式会社リビングワーク/◆後藤一樹さん



平成29年度までに、いちサポから10名が株式会社リビングワークへ就職し、活躍しています。リビングワーク株式会社では、毎年活躍してくれた人やグループを表彰しています。2017年度は、いちサポ出身の後藤一樹さんが改善案を「社長にいっぱい報告したで賞」を頂き、立石社長から直々に記念品を贈呈されました。

おうしゅうルーム



6月第1回目のおうしゅうルームは5日(火)に水沢メイプルで開催されました。午前中のグループワークは4名の参加でチャレンジワークを実施。「手先を使うことをもっとやりたい」という要望を受けて、全員でラッピングに挑戦。新しい作業として、一関で行っている「ボールペンの組立て」も取り入れています。午後は2名の方との相談に応じました。

おおふなとルーム

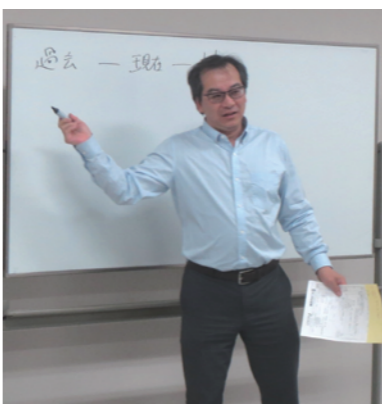


今年度がスタートして3ヶ月経過しましたが、現ご相談はご本人・ご家族・サポート機関・学校など様々なお問合せがあります。多い相談は昼夜逆転した生活からの脱出などです。近道はありませんが、何かしらの「きっかけ」の1つになれるよう「おおふなとルーム」でも取り組んで参ります。新しく職が出来ました!入口はオープンスペースですが、ご相談は見えないスペースで行いますので安心してお声がけ下さい!

セミナー報告：ホンキの就職4DAYSセミナー

報告

◆日時：6/12(火) 12:30-17:00 ◆参加者：6名
 ◆テーマ「自分の得意なことを発見しよう」 ◆講師：小野仁志



「ホンキ」で就職までをサポートするプログラムの第1日目となる講座をなのはなプラザにて開催。「過去は変えられないが、現在と未来は変えられる。他人は変えられないが、自分を変えられる」というメッセージを伝えたくて、自己紹介ワークや得意なことを発見するワークなどを実施。就職に向けてホンキで活動をする時間となり、集中して参加することができました。

サポカフェ

いちサポでは、就職が決まった利用者さんが気持ちよく働き続けられるようなサポートとして、卒業生の交流会である「サポカフェ」を月に1度開催しています。7月は21日にサポカフェWSを予定しています。

編集後記

いちサポで開催している「支援プログラム」。ホンキの就職4DAYSセミナーをはじめとした各種セミナーに加えて、今年度より「はじめの一歩プログラム」を開催します。「自信回復のために大切な3つのことを学ぶ」「小さな一歩を踏み出す 験をしよう」の二つのテーマごとに、毎月開催いたします。どんなことをするのか知りたい方お気軽にご相談ください。